

特別委員会の活動

特別委員会は、特定の案件を審査又は調査するため、必要がある場合に設置されます。本県議会では、現在6つの特別委員会が設置されています。(調査活動の概要は、2月定例会の特別委員長報告から抜粋しています。写真は平成27年度の視察風景です。)

空港、防災及び水・エネルギー等社会基盤調査特別委員会

○空港行政

空港機能の強化を図るため、「福岡県の空港の将来構想」の実現や福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完の取り組み等について調査

○防災対策

災害等から県民の安全を守るため、県地域強靱化計画の策定等について調査

○水資源、エネルギー対策

水資源及びエネルギーの安定供給等を図るため、建設が進む県営ダム等の進捗状況や将来のエネルギー施策について調査

委員から、福岡空港における入国審査官の増員や自動化ゲートの早期導入、北九州空港と福岡都市圏を結ぶリムジンバスの深夜便以外の運行等について意見、要望が出されました。

また、防災対策について、災害時の避難誘導に当たっては、女性や高齢者、子ども、障害者等へ特段の配慮がなされるよう要望が出されました。



岐阜県議会

委員長	樋口 明	委員	伊豆美沙子
副委員長	今井 保利	委員	大田 満
委員	中村 明彦	委員	佐々木 徹
委員	縣 善彦	委員	川崎 俊丸
委員	松尾 統章	委員	原田 博史
委員	中尾 正幸	委員	田中 正勝
		委員	新開 昌彦
		委員	林 裕二

子ども・子育て支援調査特別委員会

○委員会運営方針の3本の柱

- ①少子化の実態を把握し、出生率向上に資する方策を議論
- ②地域における多様な子育て支援の調査を通じ、子どもを取り巻く環境を改善するための方策を議論
- ③子どもの健全育成を促進するための環境整備について多角的に議論

委員から、「ふくおか子ども・子育て応援総合プラン」について、未婚化・晩婚化が少子化の最大要因であり、若年者が結婚に至るまでの施策をより一層充実させるべきではないかとの質問や、出生率向上について、非正規就労若年者の増加と未婚率・晩婚率の上昇傾向に相関関係があることから、正社員化に向けた更なる支援強化への要望がなされました。

なお、平成28年度は、上記②③に関する議題を取り上げ、県民が安心して結婚・出産・子育てができるような社会づくりのための方向性について検討していくこととしています。

委員長	畑中 茂広	委員	津田 公治
副委員長	高橋 雅成	委員	板橋 聡
委員	田中 久也	委員	井上 博行
委員	江藤 秀之	委員	富田 徳二
委員	十中 大雅	委員	大橋 克己
委員	塩川 秀敏	委員	大田 京子
		委員	松下 正治
		委員	小河 誠嗣



福岡県田川児童相談所(田川市)

生涯健康安心社会調査特別委員会

○高齢者対策

高齢者対策の進捗、在宅医療・介護連携、介護予防・生活支援健康づくり、生活習慣病の重症化予防、ロコモティブシンドローム予防

○障害者対策

障害者対策の進捗、障害者就業施設による「まごころ製品」の認知度向上・販売促進、障害者差別解消法施行に伴う県の取り組み

委員から、高齢者が安心して介護等のサービスを受けられるよう市町村と連携することや、特定健康診査やがん検診の受診率向上にしっかり取り組むことなどの意見・要望が出されました。

また、対象疾病が大幅に拡大された難病患者について適切な治療を早く受けることができるよう情報発信を行うことや、働く意欲のある人をサポートする体制づくり、障害者差別の解消と合理的配慮の提供に取り組むことなどの意見・要望が出されました。

委員長	大城 節子	委員	岳 康宏
副委員長	大島 道人	委員	渡辺 勝将
委員	田中 秀子	委員	守谷 正人
委員	吉松 源昭	委員	井上 博隆
委員	阿部 弘樹	委員	野田 稔子
委員	西元 健	委員	大塚 勝利
		委員	梶島 徳博
		委員	山口 律子



エフビコ愛バック株式会社 福山選別センター(広島県)

住・ひと・しごと創生調査特別委員会

○地方創生に関する取り組み

「福岡県人口ビジョン・地方創生総合戦略」策定の過程や概要

○成長産業の創出など、魅力ある多様な就業の機会の創出

中小企業への支援、次世代産業の育成、農林水産業の活性化 など

○各地域の特色に応じた雇用対策

地方創生総合戦略について、委員から、基本的考え方をただされ、執行部から、継続的に取り組んでいくことが重要であるとの認識のもと、本戦略の実効性を高めるための重要業績評価指標(KPI)によって、進捗状況を見ながら見直しを図っていくとの答弁がありました。

また、外国人観光客がより利用しやすいWi-Fi環境の整備や、6次産業化によって作られた農産品等の海外へのプロモーション等について、要望や意見がありました。



工業技術センター 生物食品研究所(久留米市)

委員長	中村 誠治	委員	吉村 悠
副委員長	川端 耕一	委員	浦 伊三夫
委員	原口 剣生	委員	小池 邦弘
委員	栗原 涉	委員	仁戸田元氣
委員	中牟田伸二	委員	佐々木 允
委員	桐明 和久	委員	二宮 眞盛
		委員	壹岐 和郎
		委員	神崎 聡

広域行政推進対策調査特別委員会

○広域連携

九州各県が広域的に連携した、共通の成長戦略、地域づくりや広域的危機管理体制の整備などを調査

○国と地方の役割分担及び税財源配分のあり方

二重行政の排除と税源配分、及び国庫支出金制度の見直しなどを調査

○九州の成長戦略に係る政策提言等

「九州の自立を考える会」より公表された「九州の成長戦略に係る政策提言」の実現に向けた取り組みなどを調査

「観光」は地域を活性化させる起爆剤となることから、「広域的な観光振興の取り組みについて」を重点的に審議。執行部より、観光プロモーションの実施や、外国人観光客の九州内周遊の促進等に取り組んでいるとの報告があり、委員からは、県庁内の観光に携わる複数の部署が情報を共有し、市町村とも連携した総力体制の取り組みや安全対策等について提言がなされました。



成長戦略の1つである先端中小企業の育成について、ものづくりビジネスセンター大阪を調査

委員長	今林 久	委員	香原 勝司
副委員長	田辺 一城	委員	片岡 誠二
委員	藏内 勇夫	委員	吉村 敏男
委員	松本 國寛	委員	渡辺 美穂
委員	井上 順吾	委員	浜崎 達也
委員	平井 一三	委員	西尾 耕治
		委員	吉武 邦彦
		委員	江口 善明

スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会

○スポーツによる国際交流及びスポーツ振興

スポーツ振興事業の概要、ラグビーワールドカップ2019に向けた取り組み

○海外との友好交流

国際交流推進事業の概要、在福岡県外国公館

○九州国立博物館活動等の文化交流

開館10周年記念事業、成都博物院との学術文化交流協定の締結 など

ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致に向けた具体的な取り組みについて委員から意見が出され、多くのキャンプ地を誘致できるよう努力を重ねてほしいとの要望がありました。また、本県と友好提携を結んでいるタイとインドに領事館などの開設を求めることや、九州国立博物館の夜間開館を検討することについて要望されました。

委員長	長 裕海	委員	野原 隆士
副委員長	松尾 嘉三	委員	岩元 一儀
委員	武藤 英治	委員	原中 誠志
委員	吉原 太郎	委員	堤 かなめ
委員	加地 邦雄	委員	森下 博司
委員	秋田 章二	委員	堀 大助
		委員	高瀬菜穂子
		委員	古川 忠



スポーツ庁(東京都)